都市再生整備計画　事後評価シート

大館駅前地区

令和7年2月

秋田県大館市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	秋田県	市町村名	大館市	地区名	大館駅前地区		面積	10.11ha
交付期間	平成29年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	2703.7百万円	国費率	48.7%	

１）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】駅前広場 【地域生活基盤施設】ハチ公駅前広場、多目的広場及び秋田犬ふれあい広場、駐車場、情報板 【高質空間形成施設】公衆トイレ、歩行者支援施設（駅前広場屋根） 【高次都市施設】地域交流センター、観光交流センター
	提案事業	【地域創造支援事業】事後評価アンケート

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業			
	提案事業	【地域創造支援事業】多目的広場屋根	朝市用の屋根を計画したが、朝市実施団体と協議し不要となったため	影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】駐輪場 【高質空間形成施設】カラー舗装 【高質空間形成施設】照明 【高質空間形成施設】融雪	計画の見直しを行い事業を追加 計画の見直しを行い事業を追加 計画の見直しを行い事業を追加 計画の見直しを行い事業を追加	影響なし
	提案事業			

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成29年度～令和3年度	・平成30年3月のコンパクトシティ事業への計画変更による事業期間1年の延長 ・コロナ禍による鉄道事業者との協議の遅延による事業期間１年の延長 ・数値目標への影響なし
	変　更	平成29年度～令和5年度	

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	大館駅周辺の歩行者・自転車通行量	人/12時間	617人	H28	740人	R5		547人	×	あり	—	大館駅から御成町２丁目方面と清水町方面への歩行者・自転車通行量は、目標値を達成できなかった。ただし、平日調査において午後の天候が雨であったことが要因の一つに考えられる。	令和８年５月
										なし	○		
指標２	大館駅周辺のまちづくりに関する満足度	%	41.3%	H28	60.0%	R5		60.0%	○	あり	—	指標10項目による満足度の従前・従後比較より、全項目で満足度が上昇した。特に「駐車場・駐輪場の整備」や「休憩したり、散歩したりする場所」、「道路や駅前広場の整備による安心・安全」、「祭りやイベントを楽しめる」の項目で、20%以上の増加が見られ、施設整備の効果が発現した。	
										なし	—		
指標３	大館駅周辺のイベント回数	回/年	7回	H27	12回	R5		13回	○	あり	—	秋田犬ふれあい広場や多目的広場等の整備により、地域住民が地区内を利活用しやすい環境が生まれた。併せてアクセスの良い駅周辺はイベントが開催しやすいことから効果が発現した。	
										なし	—		
指標４										あり			
										なし			
指標５										あり			
										なし			

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
３）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	その他の数値指標1	観光案内所を訪れる外国人観光客数	人/年	79人	H29				2,159人			海外で人気の秋田犬に特化した施設である観光交流センター（秋田犬の里）の整備により、外国人観光客が劇的に増加しており、施設整備による効果が発現した。	
	その他の数値指標２	大館駅前近辺の歩行者・自転車通行量	人/12時間	920人	H28				2,216人			地域交流センター（大館駅合築駅舎）と観光交流センター（秋田犬の里）の高次都市施設の整備、駅前広場整備等により回遊性の向上による効果が発現した。	
	その他の数値指標３												

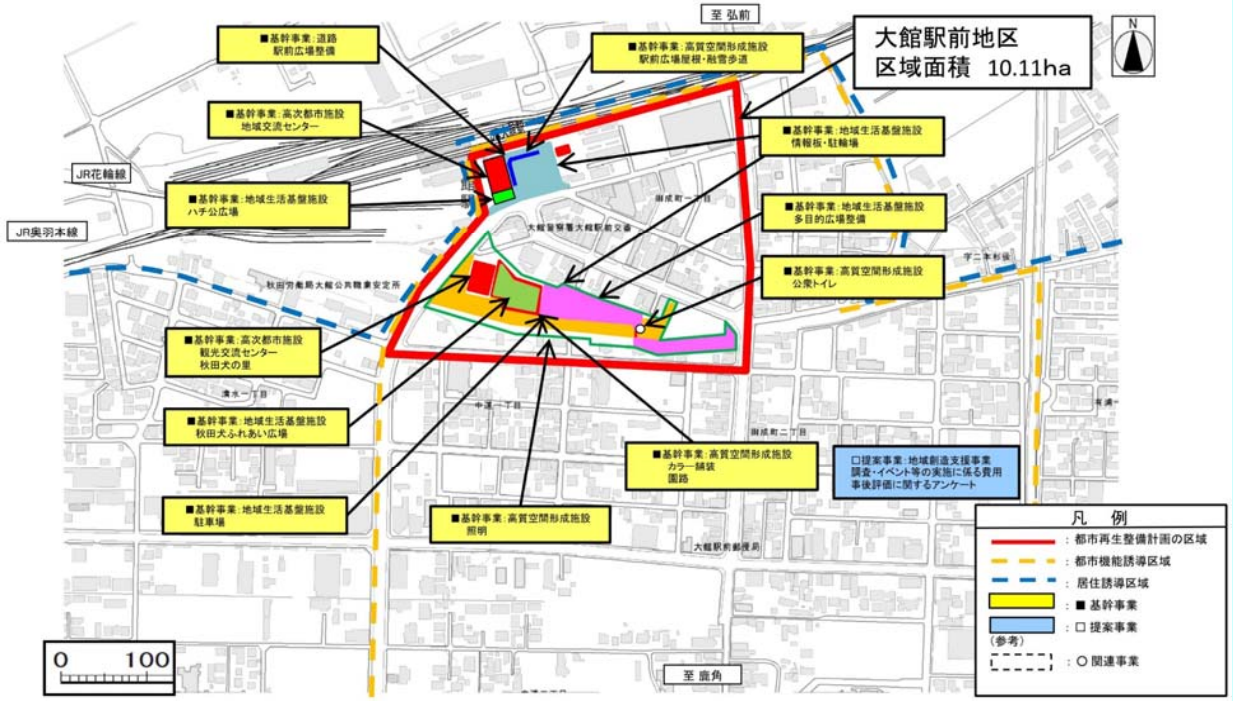
４）定性的な効果発現状況	・秋田犬の里（観光交流センター）には、北海道から沖縄まで全国から多数の観光客が来館しており、秋田犬好きの外国人も多数来館している。マスコミやテレビなどに頻繁に取り上げられていることから、大館の知名度が確実に高まってきており、交流人口の増加のほか産業・文化等多方面への効果が発現している。

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
５）実施過程の評価	モニタリング	実施していない	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	官民連携による取組	・「あきた未来づくりプロジェクト」、「歴史的風致維持向上計画」との連携・調整を図り、大館商工会議所の観光振興委員会及び街の元気づくり委員会、地元町内会や大館駅前振興組合等の民間団体と協議して整備計画を策定する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・大館市バリアフリーまちづくり推進協議会で協議し、多様なまちづくり団体と連携した取組を推進していく。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	・観光交流センターにおいて秋田犬保存会と連携した秋田犬の展示を実施する。 ・地元町内会、大館駅前振興組合と連携したイベントを開催する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・大館市バリアフリーまちづくり庁内検討員会と連携し、持続的な活動ができる体制を整える。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

大館駅前地区（秋田県大館市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：秋田県の北の玄関口にふさわしい魅力ある大館駅周辺の再興 目標１：市の顔として拠点性の向上を図り、にぎわいを再生する。 目標２：「秋田犬」や「まげわっぱ」等の豊富な地域資源・文化を活かしたまちづくりを展開し、交流人口の拡大を図る。 目標３：交通結節点として、安全で快適な駅前空間を形成し利便性の向上を図る。	大館駅周辺の歩行者・自転車通行量	単位：人/12時間	617人	H28	740人	R5	547人	R6
	大館駅周辺のまちづくりに関する満足度	単位：%	41.3%	H28	60.0%	R5	60.0%	R6
	大館駅周辺のイベント回数	単位：回/年	7回	H27	12回	R5	13回	R6



観光交流センター

地域交流センター

駅前広場

まちの課題の変化	・整備前の課題は、「駅舎及び駅前広場の整備」や「観光機能の充実」、「駅前広場の安全性や利便性の向上」、「交流人口の拡大」などが掲げられ、それに対する整備が行われた。 ・整備により満足度の向上や交流人口の増加などにつながっているが、一方で「駅前広場整備における利用上の改善（案内サインの充実等）」や「イベント時の近隣住民への配慮（騒音等）」、「相対的な空き家・空き店舗・空き地等の景観阻害」、「駅前近辺から駅周辺（御成町２丁目方面、清水町方面）への波及効果」などの課題が新たに生じている。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・整備された駅前広場周辺における運用上の課題について、配慮が必要な箇所は、適宜改善を図るものとする。 ・秋田犬の里（観光交流センター）は、動物愛護に配慮しながらより良い秋田犬の展示方法やふれあい方法を模索する。 ・大館駅合築駅舎（地域交流センター）の会議室やイベントホールは、交流の場としての利活用を促進する。 ・イベント時の騒音などが近隣に与える影響等の課題について、市の顔としての拠点性やにぎわい再生への意義等を説明しながら、理解を得られるようにするとともに、近隣商店等への波及効果などにつながるような取組みを検討する。 ・駅前広場周辺が整備されたことにより、空き家や空き店舗、空き地等が景観を阻害している課題について、空家等対策計画や景観計画などと歩調を併せ、大館市まち・すまい協議会と連携し空き店舗のリノベーションによる利活用等を検討する。 ・駅前近辺では、整備による歩行者・自転車通行量の増加が見られた。今後は、その人の流れをさらに御成町２丁目方面や清水町方面へ誘導するための施策として、官民連携による居心地の良い歩きたくなるまちなかづくりを推進する。